

小学校
5年／道徳

ネット上でのめいわく行いを知ろう

～「みやぎの情報モラル総合サイト」の資料を活用した道徳指導～
実践者 登米市立佐沼小学校 野里 恵二

1 学習の概要

主題名

ネット上でのめいわく行いを知ろう

本時の目標

掲示板の匿名性という特徴から、配慮の欠けた書き込みがなされやすく、与える影響が大きいことを理解させ、書き込む内容を判断し、思いやりをもって利用しようとする気持ちを高めることができるようにする。

本時の学習

学習活動

- 1 掲示板について知っていることを話し合う。
- 2 簡易掲示板を利用して、実際に掲示板への書込を体験する。
- 3 本時の課題を知り、話し合う。
- 4 掲示板の利点と問題点について話し合う。
- 5 デジタル教材を視聴し、問題点について話し合う。
- 6 掲示板を利用する場合に気を付けなければならないことについて考える。
- 7 掲示板関連のニュースを知り、相手を思いやって気持ちよく利用しようという思いをもつ。

本時活用機器・コンテンツ

- ・デジタル教材
「ネット上でのめいわく行いを知ろう」
- ・ビデオプロジェクター

補助資料等

- ・みやぎの情報モラル総合サイト
(ワークシート、デジタル教材ストーリー)

指導上の留意点

- 掲示板のよさや問題点になっていることを発表させることで、価値についての方向付けをする。
- 掲示板を疑似体験させ、たくさんの人に短時間で情報提供できることを理解させる。
- ねらいとする価値に迫るために、利点と問題点という視点を与え、話し合わせる。
- デジタル教材を視聴させ、なぜ問題が起きたのかについて考えさせ、話し合わせる。
- 掲示板の有用性や利便性も確認する中で、他者の気持ちを十分考えて掲示板を扱わなければならないことを確認し、価値に迫る。
- 県内の学校でも問題になったことを伝え、身近な問題であることを実感させる。

2 学習のポイント

・ 掲示板の疑似体験

掲示板の使い方や掲示板がどのようなものか理解させるために、情報モラル研修教材2005(掲示板)を使用し、疑似体験させた。児童の経験をそろえ、話し合いを深めることができた。

・ デジタル教材の活用

「みやぎの情報モラル総合サイト」の小学校教員用指導資料内に用意されているデジタル教材の「ネット上でのめいわく行いを知ろう」を活用した。

掲示板の匿名性という特徴から、配慮の欠けた書き込みがなされやすく、与える影響が大きいことを理解させ、書き込む内容を考えさせる上で大変有効な教材であった。

・ ワークシートの活用

小学校教員用指導資料内に用意されているワークシートに登場人物の行動の問題点について、自分の考えを記入させたことで、児童は自信をもって発表できていた。また、ワークシートの記述内容から本時の価値にせまることができたかをおさえることができた。



3 学習のまとめ

簡易掲示板を使用して、疑似体験したことで、利用の経験のなかった児童も掲示板の特性を楽しみながら理解することができた。

デジタル教材を活用したことで、児童は掲示板の匿名性という特徴から、配慮の欠けた書き込みがなされやすいことを共感的に理解し、何が問題点なのかに気付き、自分がどのような行動をとるべきなのかについてしっかりと考えることができたと思う。「みやぎの情報モラル総合サイト」の資料は、道徳を通して情報モラルを培う上で、大変有効なものであることが実感できた。

